



NEWS RELEASE

報道関係各位

平成20年9月16日

独立行政法人日本スポーツ振興センター

株式会社みずほ銀行を幹事銀行とする18金融機関等からの 長期借入金の償還(完済)について

独立行政法人日本スポーツ振興センターは、スポーツ振興くじtotoの第1期事業(2001年シーズンから2005年シーズン^{*1}まで)に係る未払委託料の支払のため、平成18年9月29日付で株式会社みずほ銀行を幹事とするシンジケートローンにより資金(190億円)を調達し、平成19年度から平成28年度までの10年間で返済することとしていました。
(*1シーズンは、Jリーグシーズンの3月から12月まで)

その後、おかげさまをもちまして、スポーツ振興くじtotoの売上は、順調に伸びており、平成20年度売上額については、toto史上最高額^{*2}となる約700億円以上を確保できる見込みとなったことなどから、**今回、シンジケートローンによる長期借入金をすべて償還することとしました。**

(*2過去最高:平成13年度売上額 642億6677万800円)

スポーツ振興くじ事業の財務内容の健全化が図られ、より効果的かつ充実したスポーツ振興助成事業を実施することができるとなりました。今後とも、BIGやtoto をはじめとするスポーツ振興くじの一層の売上向上に努めてまいります。

報道関係各位におかれましては、倍旧のご支援をお願い申し上げます。

記

1 融資金融機関等

株式会社みずほ銀行を幹事銀行とする18金融機関等によるシンジケートローン(190億円)。

なお、シンジケートには、清水銀行、広島銀行、武蔵野銀行などJクラブにゆかりのある地方銀行を含め、全国から幅広くご参加いただいております。

返済期間は、平成19年度から平成28年度までの10年間で予定していました。

2 償還実績

- (1)平成19年9月28日 償還済額 4億円
- (2)平成20年3月31日 償還済額 91億円
- (3)平成20年5月30日 償還済額 43億円

(4)平成20年9月30日 償還予定額 52億円(残額 0円)

(参 考)

● シンジケート参加金融機関等(幹事銀行以外は50音順、敬称略)

株式会社みずほ銀行、株式会社あおぞら銀行、株式会社熊本ファミリー銀行、株式会社清水銀行、株式会社十八銀行、株式会社十六銀行、株式会社損保ジャパン、株式会社中京銀行、株式会社富山第一銀行、東京リース株式会社、株式会社南都銀行、株式会社百十四銀行、株式会社広島銀行、芙蓉総合リース株式会社、株式会社北越銀行、株式会社北陸銀行、株式会社武蔵野銀行、株式会社横浜銀行

スポーツ振興くじtoto売上、助成金、国庫納付金等の推移

単位:円

年度	売上金額	収益		助成金	国庫納付金	備 考
13年度	64,266,770,800	10,651,206,163				
14年度	36,058,039,600	2,423,964,431		(7,100,804,109) 5,779,650,000	3,550,402,054	
15年度	19,877,283,800	331,412,136		(1,615,976,287) 2,434,791,000	807,988,144	
16年度	15,694,984,300	147,056,988		(220,941,424) 552,722,000	110,470,712	
17年度	14,905,303,400	134,473,195		(98,037,992) 243,750,000	49,018,996	
18年度	13,470,999,900	145,276,941		(89,648,797) 110,847,000	44,824,398	
19年度	63,711,847,600	15,983,293,895		(96,851,294) 78,500,000	48,425,647	収益は、長期借入金償還額 138 億円を含む。
20年度	57,589,397,700			(1,455,529,263) 1,008,250,000	727,764,632	

(注1) 収益については、国庫納付金(収益の3分の1)及び翌年度以降の助成金(収益の3分の2)の財源となる。

(注2) 平成14年度～平成19年度助成金は確定額、平成20年度助成金は内定額。なお、助成金の欄の上段()書きは、前年度の収益による助成財源への繰入額(収益の3分の2)。

(注3) 平成20年度売上金額は、第325回から第359回(9月13日販売締切)までの売上金額。

(注4) 平成20年度認可予算は、売上金額約700億円、平成21年度以降の助成財源への繰入65億円。